

# 春季街道学習講座 ついに大山阿夫利神社下社に到達！ 「石倉橋～大山阿夫利神社下社」報告 講師：對馬醇一氏

## 春季街道学習講座 1 回目 4 月 23 日(金)

伊勢原駅に集合し、バスで石倉橋下車。石倉橋付近で各地の大山街道が合流し、上りに入りました。幅が狭くなりはじめた道を歩きながら、石倉神社、比々多神社、易往寺などに立ち寄り、三の鳥居へ。いよいよ大山にまた一步近づいた思いになる立派な鳥居でした。このあたりから、先導師が営む宿坊が次々に目に入ってきました。阿夫利神社社務局からは、大山が目前によく見えました。良弁滝・開山堂を見学し、大山ケーブルバス停前で、行程を終えました。

## 春季街道学習講座 2 回目 6 月 25 日(金)

伊勢原駅に集合し、バスで大山に向かいました。雨予報でしたが、スタートはまずまずの天気。しかし、大山ケーブルバス停に着くと、雲行きが怪しくなりました。階段が長く続くこま参道を歩き、ケーブルに乗り、大山阿夫利神社下社に着く頃には小雨が降り始めてしまいました。ところが、下を見ると、江の島や相模湾までくっきりと見える素晴らしい眺望が広がり、ここまでの長い道のりを歩かれた参加者の皆さんにとって感動のひとつとなりました。

3 年前、赤坂御門をスタートして、17 回目の講座でついに大山阿夫利神社下社に到着。すべての講座に参加された方もおられて、皆で祝福いたしました。さらに今回の街道学習講座のまとめとして、講師の對馬氏に大山信仰の歴史を解説いただきました。下山の途中では大山寺にお参りし、大山の歴史をより深く学びました。そして予定通り、無事にこま参道で解散しました。



下社前から江の島を望む



大山阿夫利神社 下社にて

## 【お知らせ】

◆新型コロナウイルスの感染拡大防止等で、行事の開催等が変更となる可能性があります。  
※展示替えのため、9月27日(月)～30日(木)、11月29日(月)～12月3日(金)は、展示室を閉室させていただきます。

## 川崎市大山街道ふるさと館 <利用案内>

電話：044 (813) 4705 FAX：044 (712) 0034

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

開館時間 ・9:30～21:30 (展示室 10:00～17:00)

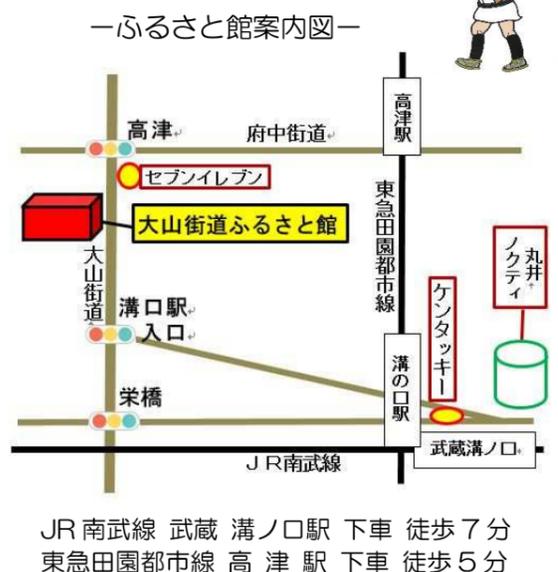
休館日 ・年末年始(12月28日～1月4日)

施設点検日 ・毎月の最終金曜日 (17時閉館)

※駐車は、貸館の利用団体用として、各団体1台とさせていただきます。

※ふるさと館では、イベントホール(定員64名)、第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)が利用できます。「ふれあいネット」からお申込みください。団体登録・個人登録ともに申し込みができます。

ふるさと館 HP



〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 Tel: 044-813-4705 Fax: 044-712-0034 <http://furusatokan.web5.jp/>

## 企画展「給水開始100年—近代川崎を切り拓いた水道—」開催

主催：川崎市市民ミュージアム 共催：川崎市上下水道局、川崎市大山街道ふるさと館

2021年10月1日(金)～11月28日(日) 当館展示室

開場時間 10時～17時 観覧無料

大正10(1921)年、川崎に近代水道が完成し、給水を開始してから今年で100年を迎えました。

川崎では、主に二ヶ領用水の水を生活用水として利用し、人々の暮らしを支えてきましたが、水質は決して良いとはいえませんでした。また、明治末期には工場誘致が町のスローガンとして掲げられ、多くの工場が川崎の臨海部に進出したため、大量の水が必要とされました。これらの出来事がきっかけとなり、川崎町(現在の川崎区北部)に待望の水道が敷設されます。

水道敷設後、水を必要としていた隣接の町村と合併し、大正13(1924)年に川崎市が誕生します。その後も、周辺町村と合併を繰り返し、昭和14(1939)年に現在の市域が確定しますが、こうした市域拡張にも水道は深く関わっていました。

川崎市水道100周年を記念した本展では、水道敷設時の資料や、市制施行前後からその後の都市形成を表す水道関係の資料など約50点を展示し、川崎における水道の歴史をたどります。

館内では、関連イベントとして実施した「うれしい蛇口コンテスト」の作品も多数展示します。

この機会にぜひ、大山街道ふるさと館にご来館ください



川崎町水道一覧図(複製)  
大正10(1921)年



川崎町水道通水記念絵葉書 大正10(1921)年



石井泰助肖像写真(60歳)  
大正13(1924)年頃  
(初代川崎市長)

## 展示構成

**第1章 水道ができる前の水利用** 当時の川崎の人々はどのように水を利用していたか、その役割を担っていた二ヶ領用水を中心に上げ、当時の水利用の恩恵と弊害について触れます。

**第2章 近代水道をつくる** 川崎町(現在の川崎区北部)の水道敷設に尽力した石井泰助(初代川崎市長)に注目し、水道敷設の背景や、敷設後の町村合併について概観します。

**第3章 高津と水道** 高津町(現在の高津区北部)で設立された溝ノ口水道組合と川崎市への編入について紹介します。

## 令和3年度 ふるさと探究講座のお知らせ

当館では、大山街道や高津地域の歴史や文化について、より深く学ぶことのできる「ふるさと探究講座」を開催しています。本年度は下記の3日間、各分野の講師をお招きしご講演いただきます。各回とも会場は当館2階イベントホール、各回参加費500円です。9月30日(木)(消印有効)までに、往復はがきでお申し込みください。定員を超える応募があった場合は、抽選となります。

### 11/3(水・祝)10時~12時「県央地域の大山街道 -海老名を中心に-」

講師：片山兵衛氏(海老名市文化財保護審議委員会委員)

大和・海老名周辺といった県央地域の大山街道を、江戸時代から明治時代にかけて歩いた人々の記録を丹念に見ることで、今では失われた高座郡周辺の景観や風物、人情などに幅広く体感的に迫ります。



春の海老名耕地と大山 -昭和32年撮影  
(『海老名市史(3)資料編 近世(2)』より)

### 11/28(日)10時~12時「溝口村の水騒動」

講師：落合功氏(青山学院大学経済学部教授)

久地円筒分水は、溝の口駅から20分程度の場所にあります。二ヶ領用水の水がここに集まり、ここから東の川崎方面に分水しています。実は、江戸時代、二ヶ領用水の水の利用をめぐる溝口村で大騒動が起きています。今回は、文政4(1821)年の水争いを紹介します。



久地円筒分水

### 12/18(土)10時~12時「幕末期、大山街道沿い歌人たち」

講師：相澤雅雄氏(地域史研究家)

幕末期に溝口宿や長津田宿でも、地方歌人の姿が見られました。江戸地廻り経済の発展によって、俳諧と同じく和歌を詠む人たちがいたことが確認されます。今回は、両宿場の地方歌人を紹介します。

溝口の歌人・  
太田良海(道一)の  
和歌を収める  
猿渡容盛編  
『類題新竹集 上』  
明治4年(1871)  
玉巖堂刊 講師所蔵



## 令和3年度「ふるさと探究講座」お申し込み方法

- ・<往復はがき>でお申し込みください。
- ・3回分を1枚の往復はがきで申込できます。(1人1枚まで)
- ・往信(裏)に「ふるさと探究講座申込」と明記し、氏名・住所・電話番号、ご希望の講座の開催日とそれぞれの参加人数(はがき1枚につき2名まで)を記載してください。(1回だけでも、2回でも3回すべてでも結構です)
- ・返信(表)に送付先の住所、氏名を記載の上、9月30日(木)(消印有効)までに郵送してください。
- ・各回とも定員は30名。定員を超える応募があった場合は、抽選となります。結果は10月上旬に発送します。

送付先住所:〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 川崎市大山街道ふるさと館

### 申込記入例

「ふるさと探究講座申込」  
氏名 大山太郎 (おおやま たろう)  
住所 〒000-0000  
川崎市高津区〇〇 △◇●□  
電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇  
希望する講座  
11月3日・11月28日・12月18日  
参加人数  
11月3日は1名  
11月28日と12月18日は2名

## 2021年9月・10月 ミニ企画展 「大山街道の宿場めぐり ⑤荏田～長津田」

荏田・長津田の宿場町が栄えた横浜地域を通る大山街道は、特に幕末から明治期には横浜開港と関連して、外国人も訪れる道となりました。当時をしのばせる遺構として、現在も「常夜灯」と呼ばれる石灯籠などが、街道沿いには残されています。今回はそうした風景の写真と共に、横浜の大山街道の歴史・文化を紹介します。



2021年7月10日(土)

令和3年度 第2回企画展 記念講演会

## 「行楽地としての多摩川-玉電・花見・音頭-」 報告

今回の講演会は川崎市市民ミュージアム学芸員の鈴木勇一郎氏をお招きし、高津地域の観光産業の発展や、メディアで紹介されてきた歴史についてお話しいただきました。江戸時代の紀行文や浮世絵に始まり、明治後期に二子玉川地域に建設された玉川遊園地や、大正から昭和戦前期にかけての多摩川行楽地化、そして地域の宣伝のために作られた民謡レコードなど、具体的な資料を紹介しながらの興味深いお話しでした。企画展「絵図・絵葉書・雑誌にみる高津」では扱いきれなかった話題をふんだんに盛り込んだ講演会でした。



講演会の様子

## 2021年8月2日(月)「中学生のためのふるさと発見講座 —探ろう!大山街道の歴史—」 報告

前半は、ふるさと館で、江戸時代から昭和に至る大山街道や高津地域の歴史について学び、後半は、前半の講義の中に出てきた史跡を実際に歩いて巡りました。うだるような夏の日差しの中、生徒たちは元気に参加し、1時間ほどかけて、ふるさと館から二子神社まで、様々な史跡に立ち寄りながら大山街道を往復しました。二子神社では、岡本太郎が母かの子を思い制作した、夢幻の白鳥が浮かぶような作品「誇り」を見学するなど地域の歴史を体感する講座となりました。



岡本かの子文学碑「誇り」の前で

## 当館イベントホールで「目で歩く1m=10km 地形図の旅 マップ展示『東海道・中山道・大山街道』」が開催されました

令和3年8月13日(金)~15日(日)の3日間、ふるさと館2階イベントホールにて「目で歩く1m=10km 地形図の旅 マップ展示『東海道・中山道・大山街道』」が開催されました。この展示は、株式会社風人社が企画・制作し、例えば東海道の550kmはマップをつなぎ55mで展示し、各地の見どころや名物も合わせて紹介するという企画でした。開催期間中は、連日雨となりましたが、熱心な方が多数訪れ、ご来場いただいた皆さんからは、「コロナ禍で遠出は難しいが、目で歩く旅をたっぴり楽しむことができました。」と感想が寄せられていました。



会場の様子

## 2021年7月・8月 ミニ市民ギャラリー開催

1階スロープの展示スペースで、7月は、美保じぞう己書道場様による「十人十色 己の世界」展、8月は、田中艸太郎氏による「高津の星空」展を開催しました。それぞれ素晴らしい作品を展示され、来館者の注目を集めました。



「十人十色 己の世界」の作品



「高津の星空」の作品